

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	保健・医療	2	健康づくりを支える環境の整備

事業名	飼い犬登録事業	担当課名	環境課
-----	---------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生予防、蔓延防止及び撲滅することにより、公衆衛生の向上の増進を図ることを目的とする。
(事業概要等)	狂犬病予防法に基づく犬の登録及び予防注射接種の促進業務

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	427	433	459	610	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
新規飼い犬登録頭数	頭	153	129	137	152
予防注射頭数	頭	1,442	1,386	1,359	2,370
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
飼い犬登録で犬の管理を行い、狂犬病予防注射を促進することで、狂犬病の撲滅を行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし。
--------	---------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし。
---------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 狂犬病予防法に基づき、飼い犬の登録で犬の管理を行うとともに集合注射により狂犬病予防注射を促進することで、狂犬病の撲滅を図るため、現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	保健・医療	2	健康づくりを支える環境の整備

事業名	防疫事業	担当課名	環境課
-----	------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症の発生を予防し、そのまん延の防止を図り、公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的とする。
(事業概要等)
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症の発生の予防、感染症のまん延の防止の推進を図るため、大阪府保健所及び医療対策課等の関係機関と連携し、衛生害虫の駆除を実施する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	793	852	5,986	687	
うち市負担分(千円)	793	852	5,986	687	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
セアカゴケグモ駆除回数	回数	37	20	30	30
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
衛生害虫の駆除を行い、感染症予防対策及び快適な生活環境の保全を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし。
--------	---------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし。
---------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 感染症予防法に基づき、感染症の蔓延を未然に防止するため、現行どおり継続して行っていく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	1	公害防止対策の推進

事業名	公害測定事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
大気汚染防止法・水質汚濁防止法・土壌汚染対策法・ダイオキシン類対策特別措置法・騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法・水道法等に基づき、工場及び事業場等から大気中・公共用水域に排出されるばい煙・排水・悪臭の排出を規制するとともに、地下水の水質及び土壌の汚濁の防止を図り、騒音・振動について必要な規制を行ない、生活環境を保全し、市民の健康の保護に資することを目的とする。
(事業概要等)
大気汚染防止法・水質汚濁防止法・土壌汚染対策法・ダイオキシン類対策特別措置法・騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法・水道法等に基づき、工場及び事業場等から大気中・公共用水域に排出されるばい煙・排水・悪臭の排出を規制するとともに、地下水の水質及び土壌の汚濁の防止を図り、騒音・振動について必要な規制を行ない、生活環境を保全し、市民の健康の保護に資することを目的とする。

【事業費】

項目／年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,629	2,086	4,072	5,154	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
測定調査数	種類	4	3	4	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事業所規制における水質の行政検査を行うことで、水質汚濁防止を図った。河川の水質検査を行い、水質汚濁状況の経年変化を検証した。騒音の常時監視を行い、道路騒音状況の経年変化を検証した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし
--------	--------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし
---------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業所規制・指導事務については、公害関連法令に基づく事務であるとともに、大気、水質、騒音等の公害測定事業については、公害対策上基本的な指標となるものであり現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	4R推進事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	循環型社会の形成に向けて4Rを推進するため、ごみの排出抑制や資源化について啓発する。
(事業概要等)	夏休みを利用して4Rについて学習する「親子エコバスツアー」を開催する。家庭で不用となった傘を再利用(修理)して、公共施設8箇所に設置することで、ごみの減量・分別への意識啓発を図る。ごみ分別アプリを活用して、ごみの出し忘れ防止や分別に関する問い合わせを解決する。ごみ拾いSNSアプリPIRIKAを用いた管理ページを運用することで、地域コミュニティの活性化と美化活動の啓発を行う。

【事業費】

項目／年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	802	2,049	2,510	4,926	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
エコバスツアー参加人数	人	33	31	28	40
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
食品ロスによるごみの減量化推進し、資源化に対する理解を深め、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成27年度から、夏休みに実施するエコバスツアーでは、リサイクル設備の見学場所は屋外であるため、見学時間を午後から午前に変更したが、毎年まったく同じ見学内容であるとの意見もあり、令和元年度から見学先を変更した。 平成30年度からごみ分別アプリと、ごみ拾いSNSアプリPIRIKAを用いた管理ページを開発・運用を開始した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	なし
---------	----

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみの減量化及び資源化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上が図れた。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		ごみの減量化の推進

事業名	エコッキング事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
ごみ袋の収益を「地域環境基金」に積み立て、ごみ減量、環境教育、低炭素社会の推進などの環境施策に活用する。エコッキング教室は、食品ロスの生ごみ減量の観点から市民提案により、事業実施されたもの。
(事業概要等)
生ごみの出ない、環境に優しい料理教室を実施する。 講座として、エコやエネルギーの話。 実技として、生ごみの出ない料理教室。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	263	263	267	309	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
参加人数	人	63	71	66	68
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識啓発が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	1年前の教室を受講していない人を優先的に、受け付けるようにした。また、エコッキングを通じ食品ロスについての意識啓発を促すと共に、残飯などの生ごみが少なる調理方法及び食べ残し等の生ごみを減らすよう啓発活動を行っていくこととした。 開催3回中2回を土日開催にすることで、平日仕事がある方も参加しやすくなった。 一時保育(先着5名)を全日程で設けた
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	キャンセル待ちが出るなど好評ではあるが、連続で受講している人がいたり、単純に実施回数を増やすと多くの空席が出たり、次期的に参加人数が増減する可能性があるため、開催の時期及び曜日を検討する必要がある。 また、当日キャンセルが出た場合の欠員対応についても検討が求められる。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進し、市民へ食品ロス等ごみ問題やごみの減量に対する意識の向上が図れた。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		ごみの減量化の推進

事業名	ごみ減量機器購入助成事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	一般家庭から排出される生ごみの減量化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上を図る。
(事業概要等)	ごみ減量機器購入者に対し助成金等の交付を行い、一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進し、市民に対しごみ問題やごみの減量の意識の向上を図る。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	298	456	539	600	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
生ごみ処理機購入助成件数	件	11	14	16	15
コンポスト購入助成件数	件	0	-	-	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみ減量機器購入者に対し助成金等の交付を行うことで、一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進し、市民に対してごみ減量の意識向上が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	コンポスト購入助成については、数年助成金申請者がなく、一定の必要な対象にはいき渡ったため平成30年度より事業中止とした。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	広報紙、HP、出前講座等を通じ、募集の告知を行い、購入希望者数の増加を図る。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 生ごみ処理機の購買意欲ある世帯への普及がある程度進んでいると考えられるが、ニーズがある限りは対応する。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		ごみの減量化の推進

事業名	し尿処理事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	し尿の適正処理による環境衛生の確保。
(事業概要等)	公共下水道未整備地区及び未接続世帯のし尿については、許可業者によりくみ取り収集が行われており、その収集や浸水に伴うし尿の臨時収集に対して補助金を交付する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,733	5,314	4,778	7,660	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
収集量	kL	2,413	2,292	2,184	2,030
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
し尿の適正処理により、環境衛生の確保ができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成29年度より、収集人口の減少に伴い収集経費の割合が困難となってきたため、くみ取り補助金を300円から350円に引き上げた。令和2年度(5月)より、前記の理由により、くみ取り補助金を350円から550円に引き上げた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	収集人口の減少による業務量の減少に伴い、収集経費(単価)が上昇しているにも関わらず、補助金割合が減少しているため、将来的に、し尿収集事業の継続が困難になる懸念がある。また、災害時のし尿収集体制の確保の懸念が生じている。 このことから、し尿汲み取り業務を委託化し、安定的なし尿収集体制の整備が必要である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 要改善	(左記評価の理由) 収集人口が減少するにつれ非効率な状況になっており、費用面で業者の負担が増しているが、安定的な収集体制を維持しなければならない。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		ごみの減量化の推進

事業名	一般家庭ごみ減量化推進事業(地域環境基金活用事業)	担当課名	環境課
-----	---------------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
家庭から出るごみの減量を推進するため、減量・分別、リサイクル意識の向上を図り、適切な可燃ごみの処理体制の充実を図る。
(事業概要等)
家庭から出る可燃ごみを、市の指定する有料の指定袋制を導入し、ごみの減量化に努めた。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	29,788	29,723	38,107	35,865	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
一般家庭ごみ(可燃ごみ)収集量	トン	10,532	10,618	10,551	10,500
一人一日あたりの可燃ごみ排出量	グラム	385	390	388	387
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
指定袋制を導入したことにより、ごみの減量に効果があった。令和元年度の排出量は指定袋制導入前の平成21年度と比較して、約23パーセント減量効果があった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年12月から有料指定袋制を導入。 平成28年4月からの容器包装プラスチックの分別開始によって可燃ごみ量が減ると予測されることから、平成27年10月から7.5リットル袋を流通させた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 有料指定袋制の導入によるごみの減量効果を維持できている。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		ごみの減量化の推進

事業名	一般家庭ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	市民が安心快適に生活が営めるよう、可燃ごみの適切な処理体制の充実を図る。
(事業概要等)	市内の一般家庭等から排出される可燃ごみの収集を行う。 収集方法は原則として週2回の戸別収集で、収集業務は全て業務委託で行っている。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	263,230	263,244	272,997	272,610	
うち市負担分(千円)	263,230	263,244	272,997	272,610	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
一般家庭可燃ごみ収集量	トン	10,532	10,618	10,551	10,500
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本業務に精通しているごみ収集業者が確実に業務を実施したことで、生活環境の保全及び公衆衛生の維持に寄与できた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年12月から有料指定袋制を導入。 平成28年4月から容器包装プラスチックの分別収集を開始。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 更なるごみ減量に対する意識啓発に努める。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		ごみの減量化の推進

事業名	死獣収集事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	動物死体の迅速な収集処理。
(事業概要等)	市内の道路などの公共の場所において放置されている飼主不明の動物死体を收容し、また、市民が持ち込んだ飼主不明の動物死体を定期的に火葬場に運搬する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,780	4,428	4,429	5,061	
うち市負担分(千円)	3,677	4,321	4,312	4,980	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
回収頭数	頭	478	476	335	430
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
動物死体の迅速な収集処理が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成29年度末までは、「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」に基づく協定により業務委託していたが、平成30年度以降は市内の4業者の組合に随意契約により業務委託している。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 動物死体の迅速な収集処理が図れた。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		ごみの減量化の推進

事業名	資源ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
資源の再利用を促進するため、市民及び事業者に分別収集の徹底を啓発し、焼却ごみ量を抑制し再資源化する。
(事業概要等)
資源ごみの収集を行う。 かん、びん、せともの類は、第1・3・5水曜日(一部、火曜日)、古紙類は第2・4水曜日(一部、火曜日)に収集する。 ペットボトル、容器包装プラスチックは週1回収集する。(地域によって、火・木・金曜日のいずれか。)

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	186,157	186,728	193,826	219,722	
うち市負担分(千円)	11,615	8,224	9,856	3,600	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
家庭系資源ごみの収集量	トン	2,454	2,455	2,500	2,550
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
かん・びん・ペットボトル・容器包装プラスチック・古紙等を回収することにより、資源の有効利用、リサイクルの推進が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年9月から食品トレイの戸別収集を開始し、平成28年4月から容器包装プラスチック(食品トレイを含む)の分別収集を開始した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 焼却ごみ量を減らし、再資源化を推進するため、分別収集の徹底を図る。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		ごみの減量化の推進

事業名	出前講座	担当課名	環境課
-----	------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨) 廃棄物の減量・分別・リサイクルについての啓発。
(事業概要等) 自治会等にごみ減量等の出前講座を実施し、ごみの減量化・再資源化に対する啓発を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	0	0	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
実施回数	回	19	13	22	20
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要) ごみの減量・リサイクルに対する市民意識の向上が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	可燃ごみの組成分析に基づいて、紙ごみの分別に焦点をあてた内容から、平成27年度は容器包装プラスチックについての説明に変えた。さらに、食品ロス削減や海洋プラスチックごみ問題への意識啓発を行う内容も盛り込んでいる。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	なし
---------	----

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 出前講座を継続することで、ごみの減量化・再資源化に対する啓発を行う。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		ごみの減量化の推進

事業名	小型家電リサイクル推進事業	担当課名	環境課
-----	---------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
小型家電の再資源化を促進するため、経済的インセンティブを働かせて、ごみの減量化や資源再利用を推進するとともに、排出者の利便性の向上を目的とする。
(事業概要等)
小型家電リサイクル法の認定事業者のうち、宅配便による戸別回収を実施する事業者に補助金を交付する。回収の流れは、市民が認定事業者へ直接申込みを行い、宅配業者が回収を行う。市民が支払う料金は、本来の回収料金から市の補助額を差し引いた金額となる。なお、パソコンを含む場合は、回収1件につき1箱分のみ無料となる。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	197	375	626	770	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
申込件数	件	289	596	860	698
回収箱数	箱	370	685	987	817
補助対象箱数	箱	281	535	894	1,100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
これまでは、小型粗大ごみとして泉北クリーンセンターで処理されていたものが、認定事業者により資源化された。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成29年度より、回収したパソコン・携帯電話から有用金属を取り出し、東京オリンピックのメダルをつくる「みんなのメダルプロジェクト」に賛同し、広報をおこなったことで、回収量が増加した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 小型家電リサイクル法に基づき、新たに開始した事業であり、周知に向けて取り組まなければならない。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		ごみの減量化の推進

事業名	粗大ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	電話等予約制により、効率的な粗大ごみの収集運搬を行う。
(事業概要等)	粗大ごみを排出する家庭が電話等で粗大ごみ申込センターに申込み、センターで収集計画を立て、排出者に収集日を通知する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	30,766	35,016	36,626	38,342	
うち市負担分(千円)	30,766	35,016	36,626	38,342	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
粗大ごみ受付及び相談件数	件	8,771	10,335	10,353	9,819
粗大ごみ受付件数	件	6,891	9,038	9,520	8,483
インターネット受付件数の割合 (指標を設定できない理由)	件	710(10.3%)	1168(12.9%)	1391(14.6)	1300(15.3)
(成果の概要)	効率よく収集でき、ごみが道路を長時間占拠することなく、不法投棄の減少にもつながった。				

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成13年度から電話申込制を実施。平成16年度から粗大ごみの有料化を実施。受付システムは、平成28年度にプロポーザルで選定して更新を行い、5年の長期継続契約を締結した。また、小型粗大ごみとして収集していた小型家電について、小型家電リサイクル法の認定事業者と連携した分別回収を開始した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 予約者宅のみを効率よく収集でき、ごみが道路を長時間占拠することなく、不法投棄の減少にもつながった。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	2	良好な市街地の整備

事業名	不法広告物撤去事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
屋外広告物法、大阪府屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置並びにこれらの維持について、規制、指導、除去を行うことで、良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、又は公衆に対する危害防止を目的とする。
(事業概要等)
屋外広告物の規制・指導事務、不法屋外広告物の簡易除去業務

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,051	1,030	1,096	1,111	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
撤去広告物数	枚・本・基	1,818	307	358	350
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
H30年度の撤去広告物数の減少については、H28年度H29年度の広告物の規制及び撤去により、良好な風致の形成及び危害防止を図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし。
--------	---------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし。
---------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 法令・条例等に基づき、景観の形成、風致の維持、公衆衛生上、現行どおり継続する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		ごみの減量化の推進

事業名	有価物集団回収助成事業	担当課名	環境課
-----	-------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	ごみの分別収集の徹底を啓発し、焼却ごみ量を抑制し再資源化する。
(事業概要等)	団体が自主的に新聞、雑誌、ダンボール等の古紙を回収した場合に助成金の交付を行い、ごみの減量化、資源再利用、環境美化に対する市民意識の向上を図る。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	18,446	17,961	16,565	25,000	
うち市負担分(千円)	13,176	12,829	11,832	16,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
集団回収量	トン	2,330	2,256	2,061	2,300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみの減量化、資源再利用、環境美化に対する市民意識の向上が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	「地域環境基金」を活用し、平成23年度より回収基本金を5円/kgから7円/kgに引き上げた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	広報紙、HP、出前講座等を通じ、新たな団体の登録やできるだけ集団回収に出してもらうよう啓発を行う。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみの減量化、資源再利用、環境美化に対する市民意識の向上が図れる。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		まちなみ・景観美化の推進

事業名	一般事務事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨) 清掃業務に係る事務及びごみ処理に係る事業とごみ拾い啓発活動を行う。
(事業概要等) 清掃業務及びごみ処理手数料等に係る経費。 また、まちをきれいにするごみ拾い活動としてスポGOMI大会の開催し、海洋漂着ごみやプラスチックごみの削減やごみゼロ大作戦でのごみ拾い活動の啓発を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,606	2,729	2,878	3,231	
うち市負担分(千円)	2,606	2,729	2,384	2,881	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
スポごみ大会の参加人数	人			120	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要) ごみ拾い活動の啓発を行い、まちをきれいする意識と海洋漂着ごみ等のプラスチックごみの削減についての意識の向上が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 海洋に流れ出すプラスチックごみの周知と、ごみ拾い活動をスポーツ競技として、楽しみながら参加できることで、海洋環境美化への意識の啓発を行うことができ、海洋漂着ごみやプラスチックごみの削減についての意識の向上を図れた。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	3	まちなみ・環境美化の推進

事業名	環境保全対策事務事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
鳥獣の保護及び管理ならびに狩猟の適正化に関する法律に基づく野生鳥獣の飼養登録、鳥獣の捕獲許可(鳥獣による生活環境、農林水産業又は生態系に関する被害の防止を目的とする。)及び環境保全条例に基づく空き地の適正管理により、環境保全を図る。
(事業概要等)
鳥獣の飼養登録・捕獲許可事務等の環境保全事業

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	13	12	11	27	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
鳥獣捕獲及び飼養許可件数	件	15	14	10	15
環境保全苦情処理件数	件	89	98	84	88
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
野生鳥獣の飼養登録、鳥獣の捕獲許可を行い、鳥獣保護を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし。
--------	---------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし。
---------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 鳥獣の保護及び管理ならびに狩猟の適正化に関する法律に基づく事務、環境保全条例空き地の適正管理事務については、環境保全上現行どおり継続して行っていく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	清掃分室維持管理事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
清掃活動団体の活動の支援、不法投棄の即時処理、苦情処理の対応 市民・事業所・各種団体等への廃棄物の減量・リサイクルに関する啓発を行う。
(事業概要等)
清掃活動団体の活動の支援、不法投棄の即時処理、苦情処理の対応を行う。 また、不適正排出があった場合には、原因者と思われる住民(または当該場所の周辺住民)に啓発を行う。

【事業費】

項目／年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	972	2,037	9,441	10,244	
うち市負担分(千円)		0	7,989	9,186	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
環境美化、不法投棄等ごみ収集量	トン	4	3	6	4
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
衛生委員会、各清掃活動団体の環境美化活動の推進が図れた。 ごみ集積所の排出者のへの指導により、分別の推進が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	なし
--------	----

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 衛生委員会、各清掃活動団体の環境美化活動の推進が図れる。 ごみ集積所の排出者のへの指導により、分別の推進が図れた。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	3	まちなみ・環境美化の推進

事業名	団体等育成支援事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
衛生委員会・公衆浴場業生活衛生同業組合の活動を支援し、環境美化・公衆衛生の向上及び増進を図る。
(事業概要等)
公衆衛生の向上及び公衆浴場業の確保のための特別措置法に基づき公衆浴場生活衛生同業組合の支援を図るとともに環境美化、環境衛生の向上のため衛生委員会に対する支援を図る。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,015	1,020	1,047	1,134	
うち市負担分(千円)	1,015	1,020	1,047	1,134	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
補助金額	千円	862	862	862	862
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
環境美化、公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に寄与するとともに、環境啓発及び公衆衛生思想の普及に効果がある。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし。
--------	---------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし。
---------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 環境美化、公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上を図るため、現行どおり継続して行っていく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		まちなみ・景観美化の推進

事業名	中央公衆便所維持管理事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	利用頻度の高い大津神社内の中央公衆便所の維持管理を図る。
(事業概要等)	中央公衆便所の清掃やトイレトーパー補填などの維持管理業務を委託する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,066	1,444	1,035	1,409	
うち市負担分(千円)	1,066	1,444	1,035	1,409	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
利用者推計として、水道使用量	m ³	233	248	225	230
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
利用しやすい公衆便所としての維持管理が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	大津神社から賃借した土地に施設を設置しており、土地賃借料は毎年協議することになっているが、双方合意の下に用いていた賃借料の算定根拠を過去に市側から破棄した経緯がある。大津神社からそれに対する苦情及び値上げ要求が出ており、毎年協議に労力を要していたため、双方が納得できる一定のルールとして、平成28年度に、固定資産税の評価額に基づいて賃借料を算定することで合意に至った。 また、悪戯による破損被害が数件発生していたため、付近2地点に防犯カメラを設置した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	施設の老朽化が進んでいることから今後、修繕費が必要となる。
---------	-------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 公衆便所として、市内中央に位置し、バリアフリーであり利用頻度が高い。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全		まちなみ・景観美化の推進

事業名	不法投棄防止啓発事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
家庭ごみの有料化に伴う不法投棄防止対策の充実、更なる環境美化の推進を図るため、地域環境基金を活用し、市内全域において、不法投棄監視パトロールを強化する。啓発看板等を設置することで、ごみの減量・分別への意識啓発を図る。
(事業概要等)
泉大津市衛生委員会に不法投棄監視パトロール業務を委託し、市内巡回パトロールを行うことで、違反ごみ、不法投棄ごみに対し、迅速に対応する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	900	1,103	1,166	1,000	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
不法投棄パトロール報告件数	件	387	373	501	336
環境美化、不法投棄等ごみ収集量	トン	4	3	6	4
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉大津市衛生委員会に不法投棄監視パトロール業務を委託し、市内巡回パトロールを行うことで、違反ごみ、不法投棄ごみに対し、迅速に対応できた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	可燃ごみ有料化時に、パトロールを強化するため地域の実態を把握している衛生委員会へ委託した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	なし
---------	----

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 更なるごみの減量や、適正処理に対する意識啓発に努める。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	4	地球環境の保全

事業名	雨水タンク購入助成事業	担当課名	環境課
-----	-------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、総合的な治水対策及び資源の有効利用の一環として、雨水の流出抑制と有効利用を図る。
(事業概要等)
雨水の有効利用を図るため、自宅建物の雨どい等に雨水タンクを接続し、貯まった雨水を庭木への散水用として使用してもらうことで雨水の有効利用を図る。 容量80リットル以上の雨水タンクの購入者に購入補助。(購入費2分の1以内、上限20,000円)

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	31	0	33	200	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
雨水タンク設置助成件数	回数	3	0	3	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
家庭における雨水タンク購入助成を行い、総合的な治水対策及び資源の有効利用の促進を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし。
--------	---------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし。
---------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 資源の有効利用の一環として、雨水の流出抑制と有効利用を図るとともに、省エネ、地球温暖化に対する意識啓発のため、現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	4	地球環境の保全

事業名	高効率エネルギーシステム設置助成事業	担当課名	環境課
-----	--------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、地球温暖化対策のため家庭での温室効果ガス削減を図る。
(事業概要等)	地球温暖化対策のため、エコジョーズ、エコキュート、エネファームの高効率給湯器設置者に対して助成を行い、省エネルギー施設の普及促進により、温室効果ガス排出の削減を図る。(エコジョーズ上限10,000円、エコキュート上限20,000円、エネファーム上限50,000円)

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,490	3,160	3,090	4,000	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
高効率給湯器設置助成件数	件	167	152	136	196
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
家庭における高効率エネルギーシステム設置の補助を行い、温室効果ガスを削減し、地球温暖化対策を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和元年度以降について、エコウィルが製造中止から2年経過し在庫もなく、対象者が今後ないと判断した事により、対象から外すこととした。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし
---------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地球温暖化対策として、市民の環境意識の高揚を図るために有効な施策であるため、現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	4	地球環境の保全

事業名	自転車活用促進事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、子育て世代の自転車利用を促進することで、自動車利用を抑制し、温室効果ガス排出抑制するとともに適正な幼児2人同乗自転車の普及により安全で子供にやさしいまちづくりを推進することを目的とする。
(事業概要等)
幼児2人同乗自転車購入費の2分の1の助成を行う。(電動アシスト機能なし 上限30,000円 電動アシスト機能あり 上限45,000円)

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,987	3,811	3,273	4,000	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
幼児2人同乗自転車購入費助成件数	件	73	95	77	93
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
幼児2人同乗自転車購入費を助成することで、子育て支援を行うとともに、自動車利用の抑制による、温室効果ガス削減により、地球温暖化対策を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし。
--------	---------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし。
---------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 幼児2人同乗自転車購入費の助成を行うことにより、マイカー利用を抑制し、自転車利用を促進することで、環境にやさしい自転車利用の意義を定着させる上で、現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	4	地球環境の保全

事業名	住宅用太陽光システム設置補助事業	担当課名	環境課
-----	------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、地球温暖化対策のため家庭での温室効果ガスの削減を図る。
(事業概要等)
地球温暖化対策のため、住宅用太陽光発電システム設置者に助成することで、再生可能エネルギーの利用促進を図る。(出力1KW当たり15,000円 上限90,000円)

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,445	2,915	2,383	3,000	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
太陽光発電システム設置補助申請	件	35	42	37	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
家庭における住宅用太陽光発電システム設置の補助を行い、温室効果ガスを削減し、地球温暖化対策を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし。
--------	---------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし。
---------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地球温暖化対策及び市民の環境意識の高揚を図るために有効な施策であるため、現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	新エネルギー導入促進事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地球温暖化対策の必要性をイベント等の参加することで身近な体験を通して、理解と知識を深める機会とし普及啓発を行う。また、それをきっかけに、市民一人ひとりの環境に対する意識の向上を図ることを目的とする。加えて、本市の環境基本計画見直しを行い、気候変動に適応していく内容を取り入れ未来の環境都市泉大津として方向性を示す。
(事業概要等)
夏休み親子環境教室、環境学習会(クリーンエネルギーフェア)、ABCハウジングでのイベント(省エネセミナー・省エネ実験・環境キャラクターショー)、健康・省エネ住宅シンポジウム開催。庁舎一階ロビーにて環境パネル展など実施するとともに、環境基本計画及び地球温暖化対策の推進に係る実行計画の進行管理を行う。 また、国が推進する、低炭素型の商品・サービスの利用といった賢い選択を促す国民運動「COOL CHOICE」の認知率を向上し、賛同者を増やす。

【事業費】

項目/年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,555	9,508	4,555	10,208	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
クリーンエネルギーフェア参加者数	人	354	181	183	180
環境教育等回数	回	15	16	17	8
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
毎年多くの人に参加頂き、直にクリーンエネルギー・省エネ対策について体感することにより、楽しみながら理解してもらえた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	毎年、クールチョイスの趣旨に応じた地球温暖化対策に資する啓発事業を展開しているが、令和元年度は、省エネ住宅を取り入れたイベントを開催し、新しい分野での地球温暖化対策ができた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし。
---------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 一人でも多くの人に環境に対する意識の向上を図るため、今後もクリーンエネルギーフェア、ワークショップイベントを通じ、更なる地球温暖化対策の普及啓発活動を行い、今後はWebでの啓発も取り入れ継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	4	地球環境の保全

事業名	緑のカーテン推進事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、今後、益々地球温暖化が深刻化が予想されるため、環境になるべく負荷をかけない緑のカーテン設置事業を通じ、地球温暖化対策の普及啓発を目的とする。
(事業概要等)
つる性植物を用いて緑のカーテンをつくり、室内温度を下げる事によりエアコン等の電気使用量を極力減らすとともに、植物の光合成により温室効果ガスを削減を図ることは、地球温暖化防止に有効であるため、市庁舎、小学校、幼稚園、保育所、認定こども園、生涯学習施設に設置し、来訪者にPRすることで、各家庭等における緑のカーテン設置に向けて普及促進を図る。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	489	690	732	934	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
緑のカーテン設置箇所	箇所	16	18	15	21
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
緑のカーテンを市の各施設で設置することで、温室効果ガスの削減及び市民の意識啓発を行い、地球温暖化対策を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	植え付けた後、枯れることがあるため設置後、全ヶ所の点検を行い状態を確認した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし。
---------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後益々深刻さを増すことが予想される地球温暖化を少しでも軽減するための環境教育・環境啓発に有効であり、現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	